

はじめに

ことしの2月以降、東北地方で10年前の東日本大震災の余震と推察される強い地震が頻発し、わが国が地震大国であることを改めて想起させられました。首都直下地震や南海トラフ地震についても、その発生の可能性が高まっていることが指摘されています。

また、企業に予想外に降りかかったリスクとして、昨年からの新型コロナウイルス感染症の流行は、多くの業種で事業活動に大きなダメージをもたらしています。

事業活動の継続には様々なリスクが立ちまわります。困難を乗り越え、自社のビジネスを継続するには、多角的にリスクを想定し、初動対応と迅速な復旧を合理的に行なうための備えをしておくことが求められます。

その具体的手法として勧められているのが、BCP（Business Continuity Plan＝事業継続計画）の策定・運用です。

BCPとは、「企業が自然災害、大火災、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行なうべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画」のことです。

今回はその策定と運用のしかた、そして感染症対策のポイントについて1冊にまとめ、中小企業のリスクマネジメントの参考にしてみようと考えました。

BCPをまだ策定していない会社であれば、最初に喫緊の感染症対策について記した第5部に目を通してから前半の内容に進むとBCPの理解がはかどると思います。

本冊子が危機管理意識の向上とリスク対応力の強化に役立てば幸いです。
(本冊子は2021年6月25日時点の情報に基づいています)

C O N T E N T S

【2021年最新版】

BCPの策定と災害対応・感染症対策マニュアル

はじめに 3

第1部 BCPをどのように策定するか

BCP策定支援アドバイザー 昆 正和

なぜいまBCPなのか.....	8
プロジェクトを立ち上げる	10
BCP文書の構成と書き方	12
BCP本編の書き方（前半）.....	15
BCP本編の書き方（後半）.....	24
BCPの定着と組織対応力の向上.....	30
●図表1-1 サプライチェーンへの影響	9
●図表1-2 BCP文書の基本構成	12
●図表1-3 BCPのアクションプランの流れ	14
●図表1-4 基本方針	15
●図表1-5 被害想定	16
●図表1-6① 緊急時の体制	18
●図表1-6② 緊急時の体制（続き）	19
●図表1-7 取引先への連絡事項	20
●図表1-8① 初動対応手順	21
●図表1-8② 初動対応手順（続き）	22
●図表1-8③ 初動対応手順（続き）	23
●図表1-9 事業継続手順	25
●図表1-10 災害復旧・通常復旧手順	27
●図表1-11 リスク対策の実施状況・運用規定	29
●図表1-12 添付ツール例	31
（緊急物資リスト、バックアップリスト、重要顧客・取引先リスト、重要経営資源リスト）	
●図表1-13 PDCAサイクル	32
●図表1-14 活動プランのまとめ	34

第2部 BCPの効果的なテストと訓練の進め方

BCP策定支援アドバイザー 昆 正和

BCPのテストを行なう	36
訓練の概要.....	37
訓練プランとスケジュールの設定.....	40
訓練シナリオのつくり方.....	42
訓練の実施.....	45
結果の総括と改善	47
●図表2-1 安否確認訓練のイメージ	38

- 図表2-2 緊急点検訓練のイメージ 39
- 図表2-3 クライシスコミュニケーション訓練のイメージ 39
- 図表2-4 机上訓練のイメージ 40
- 図表2-5 各種訓練のスケジュールリング 41
- 図表2-6 訓練デザインシート 43

第3部 被災したときの適切な判断と会社がすべきこと

BCP策定支援アドバイザー 昆 正和

身の安全確保と避難のポイント	50
安否確認のポイント	53
対策本部の設置	57
情報収集の進め方	60
緊急点検の進め方	62
帰宅困難者への対応	64
●図表3-1 非常時持出パッケージの例 53	
●図表3-2 緊急連絡リストと緊急連絡カードの例 55	
●図表3-3 安否確認シートのサンプル 57	
●図表3-4 対策本部の構成例 58	
●図表3-5 対策本部の運営ツール 59	
●図表3-6 対策本部立上げの2つのケース 61	
●図表3-7 緊急点検リスト 63	

第4部 迅速な復旧の要件と行動

BCP策定支援アドバイザー 昆 正和

1日も早く復旧するための条件	68
必要な要員を確保する	70
被災の判定と復旧の方向づけ	73
復旧に必要な活動を特定する	76
仮復旧による重要な業務活動の継続	79
3ステップによるメッセージの発信	83
取引先との協力と連携	84
●図表4-1 仮復旧の要件と流れ 70	
●図表4-2 スキルリストの例 72	
●図表4-3 3つの優先業務に必要な経営資源 74	
●図表4-4 注文・出荷処理の業務フロー 77	
●図表4-5 注文・出荷処理業務に必要なツール 78	
●図表4-6 業務停止の影響評価 79	
●図表4-7 スタッフの補充リスト 80	
●図表4-8 代替ツールの工夫 80	
●図表4-9 移動による仮復旧対策 81	

第5部 感染症対策をBCPに位置づける

BCP策定支援アドバイザー 昆 正和

BCPの視点で感染症対策を考えるための準備	88
ステップ1：リスクの理解	89
ステップ2：感染予防	90

ステップ3：緊急対応（初動対応）	92
ステップ4：業務の継続	93
リスクコミュニケーションの重要性	94
● 図表5-1 BCPの枠組みを構成する4つのステップ	88
● 図表5-2 感染症対策チームの役割	89
● 図表5-3 重業業務の振り分け	89
● 図表5-4 感染が疑われる場合の個人の対応	90
● 図表5-5 業務体制の振り分け	91
● 図表5-6 各種対面サービス業務の感染症対策ガイドライン	92
● 図表5-7 中小企業のテレワーク方式の概要	92
● 図表5-8 緊急対応と業務継続フロー	93

第6部 感染症リスクについて知っておきたい知識

産業医・株式会社M.D.PROJECT代表 益子 雅笛

感染症の基礎知識	96
企業の感染症対策について	98
具体的な方法	99
押さえておきたい情報源	100
● 図表6-1 感染症発生のメカニズム	96
● 図表6-2 病原体との攻防	97
● 図表6-3 感染症法に基づく各種感染症の措置	98
● 図表6-4 インターネット上の感染症情報サイト	100

第7部 感染症リスクに対応するために必要な実務のポイント

特定社会保険労務士 飯田 剛史

社員の健康状況を把握する	102
法律で義務づけられている就業制限（自宅待機）	103
就業制限中（自宅待機中）の賃金の支払義務	104
感染症に関する予防対策の留意点	105
3密対策としてのテレワークの進め方	106
モデル「テレワーク就業規則」（在宅勤務規程）	110
ワクチン接種についての会社対応の留意点	112
● 図表7-1 企業の指針表明の例	102
● 図表7-2 感染症対策チェックシートの例	103
● 図表7-3 感染が疑わしい場合の対応方法	104
● 図表7-4 感染状況別の賃金支払いについての基準と求められる対応	105
● 図表7-5 労務管理上の感染症の対応策	106
● 図表7-6 テレワークの導入手順	107
● 図表7-7 テレワークのメリット・デメリット	107
● 図表7-8 テレワーク業務の性質の検討	108
● 図表7-9 就業規則とテレワーク業務規程の関係	109
● 図表7-10 就業規則の作成・変更が必要なケースとは	109
● 図表7-11 ワクチン接種についての企業の対応事例	112